

「東京大空襲」から74年——

「今だからこそ」書き残し、伝えたい、

空襲の記録

東京都江東区にある東京大空襲・戦災資料センター。

そこを拠点に空襲体験をお話している21人の空襲体験者たち。

あの空襲から74年が経ち、お話ができる体験者は、当時、子どもだった世代が中心になってしまいました。

そんな今だからこそ、「生きた証」として体験を書き残し、戦争・空襲のことを知らない世代に伝えたい。その思いから、体験者たち自らが中心になって執筆・編集し、1冊の体験記録集が完成しました。

ぜひ、体験者たちの体験と想いを受けとめて、今、「平和」を考えるきっかけにしてください。



鈴木賀子
二瓶治代
竹内静代
大竹正春
小林暢夫
関野清雪
河合節子
西尾静子
上原淳子
江角恵子
亀谷敏子

あのとき子どもだった

——東京大空襲21人の記録

東京大空襲・戦災資料センター 編

白石哲三
早乙女勝元
藤間宏夫
佐藤政子
正木安喜子
葉山美佐子
元木キサ子
諏訪間佐智子
佐藤昌男
吉田由美子

績文堂出版

『あのとき子どもだった —東京大空襲 21人の記録』

(A5版、276頁)

編：東京大空襲・戦災資料センター

編集委員：佐藤昌男、竹内静代、西尾静子、二瓶治代、藤間宏夫

2019年3月10日
刊行 & 販売開始です！！

発行：績文堂出版 定価：1500円+税

※裏面に、本書の特色と編集委員からのメッセージが載っています。

《 本書の特色 》

- ◆戦争・空襲の体験者がいなくなる時代を前に、体験者たち自らが中心になってまとめました。
- ◆「今だからこそ」書ける・書きたい内容の体験記が集まりました。
- ◆若い世代にも読みやすいように、難しい語句、なじみのうすい語句に注を付け、戦争・空襲の概要についての解説も収録しました。
- ◆体験記を書いた21人が、1945年3月10日、どこにいて、どう逃げたのか、1枚の被災地図にまとめました（巻末付録）。
- ◆戦災資料センターは、1970年代に都民の空襲体験記を集め、『東京大空襲・戦災誌』を刊行した「東京空襲を記録する会」を原点とします。そのセンターとして約50年ぶりとなる体験記録集の「第2弾」です。

《 編集委員からのメッセージ（編集後記より） 》

3月10日の被災体験はひとつとして同じものはありません。もう思い出したくない、忘れたいという気持ちが強いけれど、それ以上に、二度とあのようなことを起こしてはならない、後に続く人たちには平和こそ、と思う気持ちが記録の中に込められています。記録は歴史の1頁にしっかり残ります。次世代の方も作業に加わってくれて、平和のバトンを渡せたと信じています。

あゝ「炎の夜」逃げまどうなか、どこかですれ違っていたかもしれない私たち。みんな子どもでした。それゆえに脳裏から、胸から、身体の奥の奥から折々に蘇る、辛く、切なく、苦しい記憶。戦争の中で人びとはどのように生き、別れ、そして死んでゆかなければならなかったか…。「戦争とはどういうものか」を考えるきっかけにさせていただきたく、私たち体験者の声をまとめました。

体験を書くことは古傷をはがすような痛みと苦しみが伴います。「戦争体験」を話すことが出来なくなる“命”の時間が目の前に迫っていますが、悲しくも残酷な事実、その悔恨と反省を語り継いでいかねばならないと、原稿を寄せた体

験者の全員が思っています。いわば、平和への思いがぎゅっと詰まった“遺言”です。本書が平和な未来への橋渡しになればと心から願っています。

空襲の体験とその後のライフストーリーを文集にまとめることをめざしました。空襲の日、同じ空の下で言葉に尽くせない苦しみを共有した方々の文章に触れ、涙し、戦争の悲惨さに怒りを新たにしました。それぞれの戦前・戦中・戦後の生きざまや、それが自分自身や家族・社会にどのように影響したのかも見えてきました。本書が次世代の「平和への道しるべ」となることを願い、心を込めてお届けいたします。

作業をしていると、3月10日の未明、皆さんが逃げ回った様子が脳裏に浮かび、想像を絶する体験をしたことを再認識しました。過酷な戦後の生活も人様々で、目頭が熱くなることもありました。被災当時幼かった私(四才)までもが体験記を書いたということは、体験者がいなくなっている証拠だと思います。何とか出版でき、体験者の皆様の想いが実現できたことを嬉しく思っています。

※当センターでの購入のほか、ホームページからも注文できます（3月10日以降）

※お問い合わせは当センターまで（右記参照）

東京大空襲・戦災資料センター

〒136-0073 東京都江東区北砂1丁目5-4

Tel 03-5857-5631 / Fax 03-5683-3326

Web <http://www.tokyo-sensai.net/>